

若者求めた 新作かき氷

奈良市の旧市街地・ならまちで近畿大農学部^チの学生らで起業したラーメン店を運営する「やるか、やらんか。」（西奈槻社長）と、同市餅飯殿町の土産物店「絵図屋」は新作かき氷を共同開発した。サイズ、価格ともに学生や観光客が手軽に購入できるように工夫。絵図屋で税込み500円で、10月末まで販売する。

絵図屋は2011年夏からかき氷を販売してきた。絵図屋の運営会社社長が西社長に若者の視点で商品開発を依頼。ラーメン店の料理長、奥野亮太郎さん(22)が今春から試作を繰り返し完成させた。

新作かき氷「MOTT^チE氷」は、酸味が利いたヨーグルト味の泡状のエスプーマがかかったミルクティーの氷が基

・ 手頃なサイズで持ち帰りがしやすい新作かき氷（奈良市で）



奈良・土産物店と開発

本。ビスケットの「ロータス」か、クッキーの「オレオ」をトッピングできる。持ち帰りにできるように350ミリ・㍻の紙カップにした。

奈良では「かき氷」が新しい食文化として認知が広がっている。奥野さんは「今回のかき氷もそんな文化をより盛り上げることに寄与できれば」と話した。